

シャッター街について



テーマ設定理由



SDGs番号11〈住み続けられるまちづくりを〉

- ・奈良県内、大型ショッピングモールの開店により商店街などが減少。
- ・都市機能の衰退により第二次産業の興亡を経ている
→その影響で商店街が”シャッター街”に
- ・シャッターを利用し地域活性化に！

仮説① シャッターアートをする

- ・シャッターアートをすることで周りが明るく
→地域住民が知ること街の雰囲気も上がる

- ・観光スポットにもなり**一石二鳥!**

デメリット

- ・費用が大きくなってしまふ

- ・時間がかかる



仮説① 検証計画



①天理市にあるシャッター街で行う。

②テナント利用の許可取り→5,000～50,000円が相場の業者に依頼→イラスト案などを伝えながら制作→完成

③完成したものを商店街のホームページに掲載し、町内掲示板や回覧板等で宣伝活動を実施。

インタビュー結果

- ・シャッターアートをする
→町や商店街がどう変わるかが鍵
- ・メリット...人との交流が増える
- ・永続的に効果がある
- ・デメリット...その一回で交流が終わってしまう
- ・アートのジャンルで利益が変動する



課題研究を通して分かったこと

- ・シャッターアートは、するべきである
- 町の活性化ができれば、天理市、あるいは奈良県の活性化につながっていく。

